

今日つくったお話も 数百年残れば、 伝説になる。

地域に根ざす伝統を
どうつくっていかか？
伊藤先生、
教えてください。

私は長年、地方自治体などの依頼で
パブリックアートの制作を手がけてきました。

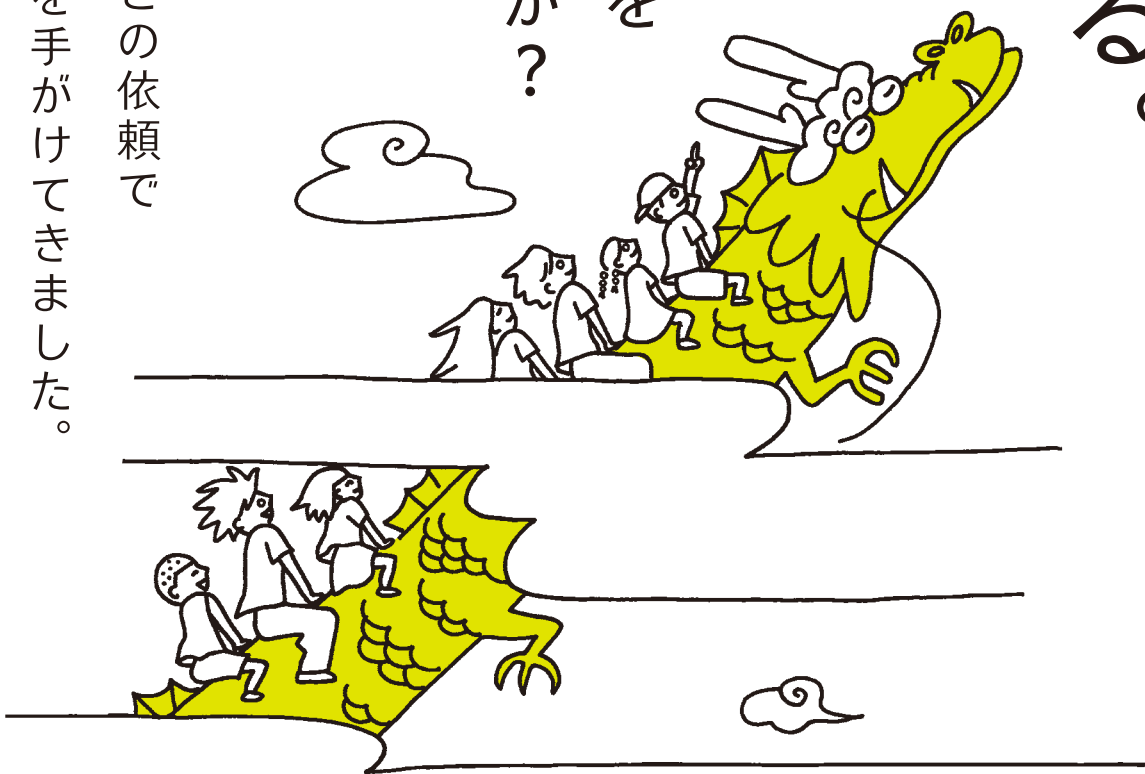
そのつながりからアートやエンターテインメントによる
町おこし企画に携わるようになり、現在では学生たちも
巻き込んで、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。
町おこしを考える上で大切にしているのは、

地域の中から素材を見つけ、エンターテインメントに
昇華させることです。たとえば、千葉県市原市にある
山あいの地域の場合、ここに存在する人工湖を題材に

“ひかりおろち”という守り神の伝説を新たに書き下ろし、
夜祭りを立ち上げました。伝説を新たに作るなんて、
と思うかもしれませんが、しかし、昔の人も桃太郎が

21世紀の今も語り継がれているとは思ってもみないでしょう。
新しい伝説でも地域で受け継がれ、数百年も経てば、
本物になるはずです。地域の人々が祭りや語りを通して、
記憶を未来に受け継いでいく。

そのとき、エンターテインメントは
大きな力になると思います。



経済学科
教授 伊藤隆治



和光3分大学

10月のオープンキャンパス

10/17(土)13:00~16:00

推薦制入試
(公募制)

出願期間 10/31(土)~11/13(金)必着

試験日 11/21(土)または22(日)

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学